

# 社会的事象に興味を持ち、思考する生徒の育成

～新聞を活用した社会科授業の実践を通して～

都農町立都農中学校

教諭 本田 浩之

## 1 はじめに

本校では2017年度から2年間、NIEの実践指定校として活動に取り組むことになった。

本校の生徒数は約260名であるが、日常の学校生活においてほとんど新聞の内容等についての話題が出されるということは少ない。社会科の授業等において新聞をとっているかを挙手させてみたところ、半数以上の家庭が新聞を購入していないという状況であった。そこで、実践1年目においては、「生徒に新聞に親しませる」ということを最大の目標とした。具体的には、学校全体での取組よりも、まずは社会科の学習において新聞を活用させるという方針で1年目の取組とした。

## 2 本年度の取組

### (1) 学校としての取組み

#### ア 各紙の割り振りと配置について

新聞6紙（宮日・朝日・日経・読売・西日本・毎日）については、3学年でそれぞれ2紙ずつに割り振り、各学年棟の教室廊下の長机に常置した。また、1～2か月ごとに、ローテーションを行って新聞を割り振ることによって、生徒に多様な新聞に触れてもらう機会とした。また、バックナンバーも各学年の棚にしばらく常置させておき、生徒がいつでも新聞を読み返せるようにした。



【各学年棟に配置された新聞】

### (2) 実践事例

上記に挙げたように、本年度は社会科のみで実践を行うことにして、担当職員（3名）がそれぞれに実践を行った。

#### ア 校長室前の本校に関する新聞記事コーナー

校長室前に本校に関する新聞記事コーナーを設けており、全校生徒が気楽に閲覧できるようにしている。



【校長室前の新聞記事コーナー】

#### イ 1学年担当職員の取組

社会科授業において、宮崎日日新聞のコラムである「若い目」への生徒作品の投稿を行った。その結果、2名の生徒の作品が新聞に掲載された。

- ・ 1年生男子「社会科の授業において日本の豊かさを知ったこと」について
- ・ 1年生女子「いじめなどの人権問題」について

ウ 2 学年職員の取組

夏休みの社会科の課題として、気になった出来事やニュースについての新聞を作成させた。その際に他社出版の「歴史新聞」を配付して、新聞レイアウト作成の参考とさせた。

2年生70名の作品の中で、内容やレイアウト、デザイン等に優れた新聞を学習発表会に掲示して、他の生徒や保護者へ発表した。

夏休みの課題ということもあり、生徒がテーマとして選んだ内容は次の通りである。

生徒が選んだテーマ一覧	生徒数 (名)
広島・長崎原爆・平和関係	14
夏の甲子園関係	10
北朝鮮核兵器関係	9
バルセロナテロ関係	5
リオ五輪関係	4
国内でカワウソ発見関係	2
ヒアリ関係	3
九州北部豪雨関係	2
プロ野球関係	2
「命のピザ」根井三郎関係	1
米「パリ協定」離脱関係	1
広島土砂災害関係	1
日本の有人月探査構想	1
稲田防衛相辞任	1

【生徒が新聞のテーマとして選んだ内容】



毎回ではないが、社会科の授業の導入に新聞を意識して用いた。社会の出来事について興味・関心をもつことは、社会科の目標である「公民的資質の育成」につながるからである。その中で、地理的分野におけるアメリカ合衆国の学習の導入において、宮崎日日新聞の記事を活用した。

本時の目標

- ・アメリカで発展してきた重工業や先端技術を用いた工業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取る。
- ・アメリカの工業は、広大な国土と豊かな資源に加えて、ヨーロッパやアジアからの移民の存在によって発展してきたことを理解する。

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点及び評価	資料・準備
導入	1 前時の学習内容を想起する。 2 アメリカの工業地帯についての新聞記事を読む。 3 本時の学習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカの農業の特色を確認させる。(企業的・大規模・適地適作)</li> <li>かつてのアメリカ最大の工業地帯がラストベルト(さびた地帯)とされていることを知らせる。</li> <li>現在のアメリカの工業の内容や工業地帯の立地場所について興味をもたせる。</li> </ul>	語句カード 新聞記事のコピー ワークシート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             アメリカの工業の特色はどのようなものであるのだろうか？           </div>			

エ 3学年職員の出組

各定期試験において、新聞記事の内容から生徒に知っておいて欲しい、考え続けて欲しいという内容について問題を作成して出題した。

5 新聞記事からの問題に答えなさい。

【資料1】



【資料2】



5 新聞記事からの問題に答えなさい。

- (1) 資料1のフランスの大統領名を答えなさい。
- (2) 資料2は、現在開催されている大相撲5月場所前に、優勝が3連覇のかかった日本人横綱に、同じく全国和牛能力共進会で3連覇がかかった宮崎牛を渡している記事です。3連覇がかかっている日本人横綱の名前を答えなさい。ひらがなでもよい。

### (3) 実践前後の変化、実践の感想、今後の課題

#### ア 児童・生徒はどのように変わったか

(ア) 今年度、生徒に具体的なアンケートを行っていないために、具体的な変容をつかむことはできなかった。しかし、多数の新聞各紙が身近に配付されたことで、授業の合間や昼休み時間に新聞を開いて生徒たちが談話する姿が見られるようになった。

(イ) 帰りの会での1分間スピーチで新聞の内容について発表する生徒も見受けられた。

(ウ) 2学年の新聞作成において、生徒が多様なテーマで新聞を作成するなど、興味・関心の高さが分かった。

#### イ 児童・生徒がN I Eについてどのような感想を持ったか

本年度、職員から生徒へのN I Eへの取組の内容が不十分であったために、生徒がN I Eについての認識を深めるに至らなかった。

#### ウ 実践者ご自身の感想

「教育に新聞を」という考え方はとても素晴らしいと思う。特に、今日のようにSNSの普及等によって益々、活字離れが進んでいる現状を考えれば、文字から情報を得て、自分の考えを記述したり、発表したりするという活動は、社会について主体的に考え続ける生徒の育成にとって、大変意義があると思う。

#### エ 反省点や課題

本年度、職員を含めてN I Eへの取組の意識が不十分であった。次年度は、しっかりと年間計画を立てた上で、計画的にN I E実践を進めていきたい。

#### オ その他

本年度反省をもとに、次年度は次のような取組を計画的に進めていきたい。

##### (ア) N I Eコーナーの設置

- ・ 校長室前の新聞記事コーナーの整備
- ・ 生徒玄関内の掲示板へのN I Eコーナーの設置
- ・ 各学年棟においてN I Eコーナーの設置
- ・ 学習発表会において、N I Eコーナーを設置し、生徒、保護者への発信、啓発を行う

##### (イ) 社会科授業におけるN I Eへの取組

- ・ 社会科の授業においてできるだけ新聞を導入等に用い、社会的事象について生徒の興味・関心を高める
- ・ 社会科の定期テストにおいて、新聞記事からの出題を行うことによって、生徒が日頃から新聞を閲覧しようという体制をつくる
- ・ 朝自習（社会科）において、宮日新聞の「くろしお」などについての感想を記述させることにより、生徒の読解力を高めさせる。

##### (ウ) 夏休みの課題等における「新聞コラム」等の活用

夏休み等の長期休業中は生徒にとっても比較的時間があるために、新聞記事をゆっくりと読むことができる。そのために、宮崎日日新聞の「くろしお」や他紙のコラムなどを読ませ、感想を書かせたい。特に夏休みは平和について考える機会が多いために、学力のみならず、これからの日本や世界について考えようとする生徒の育成へとつなげていきたい。